

2020年3月期 3月度 月次売上概況(速報)についてのお知らせ

問い合わせ先: IR・広報部長 黒沢 康孝(Tel.03-6219-8718)

土日祝日数	前年比(日)	+1	±0	+2	+1	-1	+2	-1	+1	+1	±0	±0	+2	-1	+6	+3	±0	+2	+1	+3	+3
国内売上高(全業態)	19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	20年1月	20年2月	20年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
全店	額(百万円)	25,235	23,278	19,604	19,033	22,890	22,116	27,247	17,173	25,467	30,842	18,967	17,754	22,493	266,865	61,915	72,253	73,482	59,215	134,168	132,696
	前年比(%)	3.9	4.7	4.4	4.3	3.0	11.1	41.7	-15.8	-3.8	-14.6	-6.9	-2.2	-10.9	-0.2	4.5	17.8	-11.4	-7.2	11.2	-9.6
既存店	前年比(%)	4.1	5.1	5.2	4.7	2.9	10.7	41.4	-16.2	-3.9	-14.7	-6.9	-2.4	-11.2	-0.2	5.0	17.5	-11.6	-7.3	11.4	-9.7
国内客数(全業態)	19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	20年1月	20年2月	20年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
全店	人数(千人)	2,968	3,033	2,718	2,504	2,654	2,897	2,691	2,340	2,841	3,330	2,434	2,322	2,797	32,562	8,255	8,243	8,511	7,553	16,498	16,064
	前年比(%)	-0.7	-2.7	3.0	0.1	-7.5	3.5	11.1	-9.7	0.2	-7.2	-6.9	2.9	-5.8	-1.9	0.0	1.8	-5.6	-3.7	0.9	-4.7
既存店	前年比(%)	0.0	-2.1	3.7	0.5	-7.5	3.3	10.6	-9.9	0.1	-7.2	-6.9	3.1	-6.1	-1.9	0.6	1.7	-5.7	-3.7	1.1	-4.8
客単価(全業態)	19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	20年1月	20年2月	20年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
既存店	前年比(%)	4.0	7.3	1.3	4.1	11.2	7.1	27.7	-7.0	-4.1	-8.1	-0.1	-5.3	-5.4	1.6	4.4	15.5	-6.3	-3.8	10.1	-5.3

国内 商品別売上高 既存店前年比(%)	19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	20年1月	20年2月	20年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
カー用品物販	3.7	4.1	4.7	6.1	2.1	13.3	49.6	-15.0	-4.7	-17.5	-8.5	-2.6	-10.7	-0.5	4.9	20.2	-12.9	-7.7	12.6	-10.8
主な商品群																				
タイヤ	6.0	6.3	8.1	5.9	11.7	15.9	98.1	-34.1	-12.6	-22.7	-7.6	-5.2	-13.7	-2.5	6.8	38.6	-21.4	-9.6	22.4	-17.8
カーエレクトロニクス	0.4	4.6	2.3	13.0	4.6	31.8	69.6	0.7	3.0	0.0	-9.6	-8.9	-17.2	6.8	6.5	32.9	1.1	-12.5	20.3	-5.9
オイル	3.7	0.7	0.6	1.6	-4.8	1.1	9.5	-8.2	1.2	2.9	-0.2	8.9	-3.9	0.6	0.9	1.6	-1.2	1.2	1.3	-0.1
バッテリー	13.3	16.5	-0.8	7.7	-9.3	1.6	10.3	-5.9	9.1	-5.9	-9.0	11.8	1.4	1.1	7.6	0.9	-1.4	0.1	3.6	-0.7
アクセサリ	5.6	0.9	4.4	5.5	-11.2	6.9	10.6	-0.8	1.4	-1.4	-6.1	5.6	-7.5	0.4	3.5	1.1	-0.4	-3.2	2.3	-1.8
サービス	7.2	5.3	7.4	7.2	2.0	10.6	28.2	-13.1	0.0	-5.0	-2.1	0.0	-9.8	1.9	6.6	13.1	-5.6	-4.7	9.8	-5.1
車検・整備	10.4	11.1	8.6	10.0	4.8	6.3	6.1	-15.3	-1.9	-1.7	-3.2	-0.6	-10.9	0.6	9.9	5.7	-6.4	-5.5	7.7	-5.9
車買取・販売	1.3	13.9	6.0	-4.5	14.0	0.0	33.3	-29.1	-5.1	-9.7	-7.0	-6.3	-15.7	-1.1	4.8	16.6	-14.8	-10.7	11.2	-12.6
中古カー用品	-14.2	-26.5	-9.8	-13.9	-20.4	-13.0	-14.1	-37.3	-18.7	-15.2	-26.3	-18.5	-13.3	-19.3	-17.7	-15.9	-22.9	-19.4	-16.9	-21.4
燃料	-2.7	-3.0	-8.0	-10.9	-19.0	-11.7	-7.5	-17.6	-9.8	-5.8	-0.8	5.7	-12.6	-8.7	-7.4	-12.9	-10.9	-2.9	-10.3	-7.1

海外店舗売上高 前年比(全店)(%)	-4.8	-4.3	-1.6	-0.1	-2.1	1.8	2.0	2.9	2.1	-0.1	-2.1	-1.5	-40.5	-3.6	-2.0	0.2	1.5	-14.4	-0.9	-6.4
--------------------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	------	------	------	-------	-------------	------	-----	-----	-------	------	------

店舗数(国内)	オートボックス					-1	-1		+2	-1		-1		-1	490		-2	+1	-2	-2	-1
	スーパーオートボックス														74						
	オートボックスセコハン市場														7						
	オートボックスエクスプレス														11						
	オートボックスカーズ		-5												3	-5					-5

2020年3月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで▲11.2%、全店ベースで▲10.9%。

売上増減要素:①土日祝日数、前年比で1日減。②タイヤは暖冬の影響に伴い、夏タイヤへの履き替えによる需要も減少となり、数量・金額ともに前年割れ。③車検・整備は、車検対象台数の減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による車検満了日延長措置もあり、台数・金額ともに前年割れ。全店ベースでは台数前年比▲15.9%、金額前年比▲10.7%。

タイヤ・ホイール:夏タイヤへの履き替え需要の減少に加え、月度後半の寒冷な天候の影響もあり、タイヤは数量・金額ともに前年割れ。ホイールも同様に前年割れ。**カーエレクトロニクス:**カーエレクトロニクス全体の売上を牽引してきたドライブレコーダーが前年割れになったことに加え、ナビゲーションの低調により、カーエレクトロニクス全体では前年実績を下回った。**オイル:**PBオイルが好調だったものの、中旬以降の外出自粛の影響もあり、全体では数量・金額ともに前年を下回った。**バッテリー:**月度中旬以降の外出自粛の影響もあったものの、アイドリングストップ車用バッテリーが好調だったことにより、金額ベースで前年を上回った。**メンテナンス:**下旬の首都圏の降雪の影響によりタイヤチェーンが好調。**アクセサリ:**引き続き携帯関連商品が好調。また、花粉やウイルス対策用品が好調で、特にウェットティッシュは前年比5倍以上の大幅伸張。

カーリペア:シャンプーやワックスなど洗車用品、ガラス撥水剤などが好調でほぼ前年並みの実績。**サービス:**ドライブレコーダーの売上減少に伴い、カーエレクトロニクス取付工賃が低調。また、夏タイヤへの履き替え需要の低迷に伴い、タイヤ工賃も低調。車検・整備は、車検対象台数の減少や新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての車検満了日延長措置もあり、前年実績を下回った。全店ベースでは台数前年比▲15.9%、金額前年比▲10.7%。**車買取・販売:**業販は買取専門店での買取台数減少により台数・金額ともに前年割れ。小売も中古車、新車販売ともに低迷し、台数・金額ともに前年実績を下回った。全体では、全店ベースで台数前年比▲13.2%、金額前年比▲15.7%。

出店・退店状況 3月度 国内:新店0、退店1、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、海外:新店0、リロケーション0、退店1
3月末 国内店舗数: 585店舗(オートボックス 490、スーパーオートボックス 74、オートボックスセコハン市場 7、オートボックスエクスプレス 11、オートボックスカーズ 3) 海外店舗数: 45店舗

- ・こちらのデータはフランチャイズ加盟法人の運営する店舗を含むオートボックスグループの小売売上であり、当社連結および単独の売上高とは異なり、会計監査人による監査は受けておりません。
- ・最新データにつきましては、速報値となっています。尚、過去に遡って調整が入る場合もございます。
- ・「全業態」は、オートボックス(Smart+1、オートボックスガレージ、オートボックスMini含む)、スーパーオートボックス(A PIT AUTOBACS含む)、オートボックスセコハン市場、オートボックスエクスプレス、オートボックスカーズです。
- ・土日祝日数について、年末年始(12月29日~1月3日)は土日祝日数としてカウントしています。

2019年4月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上は既存店ベースで+5.1%、全店ベースで+4.7%。
売上増減要素:	①夏タイヤへの履き替え需要が増加したことに加え、販売促進が奏功し、タイヤが好調。②車検・整備は車検対象車両増加を背景に、店舗での取り組み強化により二桁伸長。③車買取・販売は、新車販売の好調と買取台数増加に伴う業販の好調により、前年実績を上回った。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 4月中旬以降、夏タイヤへの履き替え需要が増加したことに加え、販売促進を強化したタイヤが好調で、数量・金額ともに前年を上回った。 カーエレクトロニクス: 販売促進を強化したAV一体型ナビが前年実績を上回り、ドライブレコーダーの好調も継続。 オイル: 数量は前年割れだったものの、PBオイルは好調を維持し、金額では前年並み。 バッテリー: PBバッテリーのリニューアルに伴う販売施策の奏功に加え、アイドリングストップ用バッテリーの好調により、数量・金額ともに前年実績を上回った。 メンテナンス: 長期連休に向けたレジャー関連需要の高まりを背景に、ルーフキャリアなどが好調。 アクセサリ: スマホ用車載ホルダー、芳香剤などが好調だったことにより、前年を上回った。 カーリペア: 「洗車の日」に向けた売場作りを行ったことや、晴天が多かったことにより洗車関連商品が好調。 サービス: ドライブレコーダーの好調に伴いカーエレクトロニクス取付工賃が伸長。
	車検・整備は、台数・金額ともに二桁伸長。全店ベースで台数前年比+14.5%、金額前年比+10.2%。 車買取・販売: 業販は買取専門店における買取台数増加が寄与し、台数・金額ともに大幅伸長。小売は新車販売が好調で、台数・金額ともに前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+24.3%、金額前年比+15.4%。

2019年5月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上は既存店ベースで+5.2%、全店ベースで+4.4%。
売上増減要素:	①土日祝日数、前年比で2日増。②降雪エリアにおいて夏タイヤへの履き替え需要が高まったことに加え、販売促進が奏功したことによりタイヤが好調。③車検・整備は車検対象車両増加を背景に、店舗での取り組み強化により伸長。④車買取・販売は、新車販売の好調と買取台数増加に伴う業販の好調により、前年実績を上回った。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 降雪エリアにおける夏タイヤへの履き替え需要の高まりを背景に、GW期間中の販売促進の強化に加え、昨年5月は大幅前年割れだったこともあり、数量・金額ともに前年を上回った。 カーエレクトロニクス: 販売促進を強化したもののナビゲーションは前年割れ。ドライブレコーダーの好調が継続し、カーエレクトロニクス全体では前年実績を上回った。連日の事故報道による安全意識の高まりから急発進防止装置「ペダルの見張り番」が好調。 オイル: 数量は前年割れだったものの、PBオイルは好調を維持し、金額では前年並み。 バッテリー: 昨年5月は値上げ前の駆け込み需要により売上伸長したこともあり、前年割れ。 メンテナンス: 大型連休中のレジャー需要の高まりにより、ルーフキャリアなどが好調。ワイパーも好調。 アクセサリ: 5月としては記録的な猛暑だったことも影響し、日除け類が好調。 カーリペア: 全国的に晴天が続いたことや、大型連休後の洗車需要の高まりにより前年比2割増と好調。 サービス: ドライブレコーダーの好調に伴いカーエレクトロニクス取付工賃が伸長。車検・整備は、台数・金額ともに前年実績を上回り好調を維持。全店ベースで台数前年比+8.1%、金額前年比+7.8%。 車買取・販売: 業販は買取専門店における買取台数増加が寄与し、台数・金額ともに大幅伸長。小売は中古車が低調で台数は前年割れだったものの、新車販売が好調で、金額では前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+4.7%、金額前年比+4.4%。

2019年6月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上は既存店ベースで+4.7%、全店ベースで+4.3%。
売上増減要素:	①土日祝日数、前年比で1日増。②販売促進が奏功したことによりタイヤの好調に加え、ドライブレコーダーも好調を維持。③車検・整備は車検対象車両増加を背景に、店舗での取り組み強化により伸長。④車買取・販売は、新車販売の好調と買取専門店による買取台数増加が寄与したものの、業販売上が前年割れとなったことから全体でも金額前年割れ。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 全国CMなどの販売促進の強化に加え、各店舗における品ぞろえの見直しにより、数量・金額ともに前年を上回った。 カーエレクトロニクス: 2カメラなどの高単価モデルを中心にドライブレコーダーが好調だったことにより、カーエレクトロニクス全体で前年実績を上回った。事故報道による安全意識の高まりから急発進防止装置「ペダルの見張り番」も好調が続く。 オイル: 数量は前年割れだったものの、PBオイルは好調を維持し、金額では前年並み。 バッテリー: 昨年6月の値上げに伴う売上減少が影響し、台数・金額ともに伸長した。 メンテナンス: 東日本を中心に、梅雨前線停滞に伴いワイパーが好調。 アクセサリ: 平均気温が全国的に高かったことから、日除け類が好調。また、東日本を中心に降水量が多く、フロアマットが好調だった。 カーリペア: 西日本を中心に晴天が続いたことにより、コート剤など洗車用品が伸長。 サービス: ドライブレコーダーの好調に伴いカーエレクトロニクス取付工賃が伸長。車検・整備は、台数・金額ともに前年実績を上回り好調を維持。全店ベースで台数前年比+9.5%、金額前年比+9.4%。 車買取・販売: 業販は買取専門店における買取台数増加が寄与したものの、金額は前年割れ。小売はカーズ加盟店舗での新車販売が好調で、台数・金額ともに前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+0.6%、金額前年比▲3.6%。

2019年7月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上は既存店ベースで+2.9%、全店ベースで+3.0%。
売上増減要素:	①土日祝日数、前年比で1日減。②10月からの値上げ告知の影響もありタイヤが好調。またドライブレコーダーも好調を維持。③車検・整備は車検対象車両増加を背景に、店舗での取り組み強化により伸長。④車買取・販売は、新車販売の好調と買取台数増加に伴う業販の好調により、台数・金額ともに二桁伸長。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 販売体制の強化と10月からの値上げを告知したことによる需要の増加もあり、タイヤは数量・金額ともに前年を上回った。また、降雪エリアでのスタッドレスタイヤの早期販売も好調で、軽自動車用やSUV用サイズを中心にホイールも売上伸長。 カーエレクトロニクス: 2カメラなどの高単価モデルを中心にドライブレコーダーが好調でカーエレクトロニクス全体で前年を上回った。また、各自治体による助成に関する報道が増え、急発進防止装置「ペダルの見張り番」も好調が続く。 オイル: PBオイルは好調を維持したものの、NBオイルが低調で数量・金額ともに前年割れ。 バッテリー: 気温が上がらない日が続き、交換需要が減少。 メンテナンス: 長引く梅雨の影響で降水量が増えたことによりワイパーが好調。 アクセサリ: 天候の影響で日除けや夏用クッションが低調。 カーリペア: 降水量が多く、コート剤やガラス撥水関連の商品が伸長。 サービス: ドライブレコーダーの好調に伴いカーエレクトロニクス取付工賃が伸長。車検・整備は、台数・金額ともに前年実績を上回り好調を維持。全店ベースで台数前年比+6.4%、金額前年比+4.8%。 車買取・販売: 業販は買取専門店における買取台数増加が寄与し、台数・金額ともに前年実績を上回った。小売はカーズ加盟店舗での販売が好調で、台数・金額ともに前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+16.9%、金額前年比+14.8%。

2019年8月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上は既存店ベースで+10.7%、全店ベースで+11.1%。
売上増減要素:	①土日祝日数、前年比で2日増。②あおり運転報道に伴うドライブレコーダーの好調に加え、10月からの値上げ告知の影響もありタイヤも好調。③車検・整備は車検対象車両増加を背景に、店舗での取り組み強化により伸長。④車買取・販売は、買取台数増加に伴う業販と新車販売の好調により、前年実績を上回った。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 10月からの消費税増税と値上げ告知による需要増加を背景に、販売体制を強化したタイヤは数量・金額ともに二桁伸長。また、降雪エリアを中心にスタッドレスタイヤの早期販売も好調。ホイールも軽自動車用やSUV用サイズを中心に好調。 カーエレクトロニクス: あおり運転報道によるお客様の安全意識の高まりに伴い、2カメラや360度カメラなどの高単価モデルを中心にドライブレコーダーの売上が前年比2倍以上の大幅伸長。また、東京都をはじめとする各自治体による補助金制度なども追い風となり、急発進防止装置「ペダルの見張り番」も好調。 バッテリー: 気温の上昇に伴い、交換需要が増加。数量・金額ともに前年実績を上回った。 メンテナンス: 比較的降水量が多かったことが影響し、ワイパーが好調。 アクセサリ: 天候の影響もあり、日除けや夏用クッションが好調。 サービス: ドライブレコーダーやタイヤの好調に伴い、それぞれの取付工賃、交換工賃が増加。車検・整備は、台数・金額ともに前年実績を上回り好調を維持。全店ベースで台数・金額ともに前年比+6.3%。
	車買取・販売: 業販は買取専門店における買取台数増加に伴い、台数・金額ともに前年実績を上回った。小売は新車販売が好調で、金額ベースで前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+6.9%、金額前年比+3.6%。

2019年9月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上は既存店ベースで+41.4%、全店ベースで+41.7%。
売上増減要素:	①土日祝日数、前年比で1日減。②消費税に伴う駆け込み需要により客数が大幅に増加。③タイヤは10月からの値上げ告知の影響により、またドライブレコーダーはあおり運転報道に伴う需要増加を背景に、それぞれ大幅伸長。④車買取・販売は消費税前の需要増加に伴い新車販売が好調で売上伸長。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 10月からの消費税増税と値上げ告知による需要増加を背景に、販売体制を強化したタイヤは大幅に売上増加。特にスタッドレスタイヤについては降雪エリアを中心とした早期販売が好調で前年比4倍以上の伸長。ホイールはタイヤの好調に伴い前年比2倍以上の大幅伸長。 カーエレクトロニクス: あおり運転報道によるお客様の安全意識の高まりに加え、消費税に伴う需要増加により、ドライブレコーダーの売上が前年比3倍以上の大幅伸長。また、前年割れが続いていたナビゲーションも二桁伸長。オイル:消費税前の販促強化が奏功し、数量・金額ともに前年実績を上回った。 バッテリー: 消費税に伴う駆け込み需要に加え、厳しい残暑の影響もあり数量・金額ともに二桁伸長。 メンテナンス: オイル交換件数の増加に伴うオイルフィルターの好調や、ルーフボックスなど高額商品が好調で、メンテナンス全体で二桁伸長。 アクセサリ: 新車販売増加の影響もあり車内外アクセサリが好調で二桁伸長。 カーリペア: シャンプーやワックスなど洗車用品を中心に好調。 サービス: ドライブレコーダーやタイヤの好調に伴い、それぞれの取付工賃、交換工賃が大幅に増加。車検・整備は、車検対象台数の増加を背景に台数・金額ともに前年実績を上回った。全店ベースで台数前年比+3.8%、金額前年比+6.4%。 車買取・販売: 消費税前の需要増加に伴い、特に小売における新車販売が好調で、台数・金額ともに前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+24.2%、金額前年比+33.3%。

2019年10月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上は既存店ベースで▲16.2%、全店ベースで▲15.8%。
売上増減要素:	①土日祝日数、前年比で1日増。②消費増税ならびにタイヤ値上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、台風など天候悪化も影響し、大幅に客数が減少。③ドライブレコーダーの好調が続いたカーエレクトロニクスを除く全ての商品群が前年割れ。④車検は消費増税に伴う9月への前倒し実施と、車検対象台数の減少が影響し前年割れ。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 消費増税と値上げ告知に伴う駆け込み需要の反動の影響が著しく、タイヤは数量・金額ともに前年割れ。また9月度に降雪エリアを中心に大幅伸長したスタッドレスタイヤの反動減に伴い、セット販売を強化しているホイールも大幅に前年割れ。 カーエレクトロニクス: 消費増税による駆け込み需要の反動によりナビゲーションは低調だった一方で、ドライブレコーダーの好調が寄与し、全体では前年実績を上回った。 オイル: PBオイルは好調だったものの、消費増税後の客数減少が影響し、数量・金額ともに前年割れ。 バッテリー: 高単価なアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、販売構成比も向上しているが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動も影響し、数量・金額ともに前年割れ。 メンテナンス: 台風など天候の影響もあり、緊急脱出用ハンマーなど防災関連商品の需要は高まったものの、冬用ワイパーやスタッドレスタイヤ交換に用いるジャッキなど季節性の高い商品が低調。 アクセサリ: 客数減少の影響もあり、アクセサリ全体では若干の前年割れ。 カーリペア: 天候の影響によりシャンプーやワックスなど洗車用品が低調。 サービス: ドライブレコーダーの好調に伴いカーエレクトロニクス工賃は増加したものの、タイヤ・ホイール工賃や車検・整備などその他のサービスが低調。車検・整備は、消費増税に伴う前倒し実施と、車検対象台数の減少が影響し、台数・金額ともに前年実績を大幅に下回った。全店ベースで台数前年比▲20.0%、金額前年比▲15.4%。 車買取・販売: 消費増税後の需要減少に伴い、特に新車および中古車販売の落ち込みが著しく、台数・金額ともに前年実績を下回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲14.7%、金額前年比▲27.2%。

2019年11月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上は既存店ベースで▲3.9%、全店ベースで▲3.8%。
売上増減要素:	①土日祝日数、前年比で1日増。②消費増税およびタイヤ値上げによる駆け込み需要の反動や、温暖な天候だったことが影響し、タイヤの売上が低調。③ドライブレコーダーは2カメラや360° などの高単価モデルを中心に好調を継続。④車検・整備は車検対象台数減少が影響したことで前年割れ。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 消費増税と値上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、降雪の遅れによりスタッドレスタイヤが特に低調で、タイヤは数量・金額ともに前年割れ。またセット販売を強化しているホイールも大幅に前年割れ。 カーエレクトロニクス: 販売促進を強化したもののナビゲーションは前年割れだった一方で、ドライブレコーダーの好調が寄与し、全体では前年実績を上回った。 オイル: 数量は前年割れだったものの、PBオイルが好調で金額は前年並み。 バッテリー: 高単価なアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、数量・金額ともに伸長。 メンテナンス: 10月に低迷していたジャッキやレンチなどのタイヤ交換用品の需要が増加。 アクセサリ: 「ながら運転」厳罰強化による需要増加に伴い、スマホホルダーやハンズフリーなどの携帯関連商品が好調。 サービス: ドライブレコーダーの好調に伴いカーエレクトロニクス工賃は増加したものの、タイヤ・ホイール工賃や車検・整備などその他のサービスが低調。車検・整備は、車検対象台数の減少が影響し、台数・金額ともに前年実績を下回った。全店ベースで台数前年比▲6.2%、金額前年比▲2.0%。 車買取・販売: 業販は前年実績を上回ったものの、消費増税の影響が続き、小売は特に新車販売が低調で台数・金額ともに前年実績を下回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲2.8%、金額前年比▲5.2%。

2019年12月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上比は既存店ベースで▲14.7%、全店ベースで▲14.6%。
売上増減要素:	①全国的な暖冬、降雪不足の影響でスタッドレスタイヤ、チェーンなどの冬季用品が大幅前年割れ。②車検・整備は車検対象台数減少が影響したことで前年割れ。
タイヤ・ホイール:	全国的な暖冬により、昨年12月に二桁伸長したスタッドレスタイヤが低迷し、タイヤは数量・金額ともに大幅前年割れ。セット販売を強化しているホイールも同様に前年割れ。
カーエレクトロニクス:	販売促進を強化したナビゲーションは前年割れ。ドライブレコーダーは高単価モデルを中心に好調で、カーエレクトロニクス全体では前年並みを維持。 オイル: タイヤ交換件数が減少した一方で、オイル交換件数は増加し数量・金額ともに前年を上回った。
バッテリー:	暖冬の影響もあり数量・金額ともに前年割れ。 メンテナンス: 昨年大雪時のチェーン装着義務化に伴い大幅伸長したタイヤチェーンは、暖冬の影響もあり大幅前年割れ。 アクセサリ: 「ながら運転」厳罰強化による需要増加に伴い、前月に引き続きハンズフリーなどの携帯関連商品が好調。
カーリペア:	昨年より温暖な天候が続いたこともあり、洗車用品が好調だったものの、フロントガラスの解氷剤など冬季用品が低調。 サービス: カーエレクトロニクス取付工賃は前年を上回ったものの、タイヤの販売低迷により、タイヤ・ホイール工賃が低調。車検・整備は、車検対象台数の減少が影響し、台数・金額ともに前年実績を下回った。全店ベースで台数前年比▲8.0%、金額前年比▲1.9%。
車買取・販売:	業販は買取専門店での買取台数減少により台数・金額ともに前年割れ。小売も先月から引き続き新車、中古車の販売が低迷し、台数・金額ともに前年実績を下回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲9.1%、金額前年比▲9.2%。

2020年1月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上比は既存店ベースで▲6.9%、全店ベースで▲6.9%。
売上増減要素:	①前月に引き続き全国的な暖冬と降雪不足の影響でスタッドレスタイヤ、チェーンなどの冬季用品が大幅前年割れ。②車検・整備は車検対象台数減少に伴い前年割れ。③車買取・販売は中古車販売が好調だったものの、業販売上が不調だったことから全体で前年割れ。
タイヤ・ホイール:	月の後半では首都圏を中心に降雪予報が出たものの、前月同様全国的な暖冬によりスタッドレスタイヤが低迷しタイヤは数量・金額ともに前年割れ。セット販売を強化しているホイールも同様に前年割れ。 カーエレクトロニクス: カーエレクトロニクス全体の売上を牽引してきたドライブレコーダーが前年並に落ち着いたことと、ナビゲーションの低調により、カーエレクトロニクス全体では2018年11月以来の前年割れ。 オイル: エリアにより販売促進を実施したが、低価格帯商品を中心にPBオイルが好調だったものの、全体では数量・金額ともに前年割れ。 バッテリー: アイドリングストップ車用バッテリーの販売は好調だったものの、暖冬の影響もあり数量・金額ともに前年割れ。 メンテナンス: 暖冬と降雪不足の影響によりチェーンが大幅前年割れ。
またジャッキなどのタイヤ交換商品や雪用ワイパーも不調。 アクセサリ: 「ながら運転」厳罰強化による需要増加に伴い、引き続きハンズフリーなどの携帯関連商品が好調。 カーリペア: 暖冬の影響により、フロントガラスの解氷剤など冬季用品が低調。	
サービス: カーエレクトロニクス取付工賃は、前後2カメラモデルのドライブレコーダー取付などの高単価な作業が増えていることにより、金額は前年を上回った。一方でタイヤの販売低迷により、タイヤ・ホイール工賃が低調。車検・整備は、車検対象台数の減少が影響し、台数・金額ともに前年実績を下回った。全店ベースで台数前年比▲8.0%、金額前年比▲3.3%。 車買取・販売: 業販は買取専門店での買取台数減少により台数・金額ともに前年割れ。小売は中古車の販売が好調だったものの新車販売が低迷し、台数・金額ともに前年実績を下回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲10.8%、金額前年比▲6.8%。	

2020年2月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】	前年同月売上比は既存店ベースで▲2.4%、全店ベースで▲2.2%。
売上増減要素:	①土日祝日数、前年比で2日増。②一部地域において降雪があったものの、前月に引き続き全国的な暖冬および降雪不足の影響でスタッドレスタイヤ、チェーンなどの冬季用品が大幅前年割れ。③車検・整備は車検対象台数が減少しているものの、ほぼ前年並みを維持。
タイヤ・ホイール:	北海道や西日本の一部に降雪予報が出たものの、前月同様全国的な暖冬によりスタッドレスタイヤが低迷し、タイヤは数量・金額ともに前年割れ。ホイールも同様に前年割れ。 カーエレクトロニクス: カーエレクトロニクス全体の売上を牽引してきたドライブレコーダーが前年割れになったことに加え、ナビゲーションの低調により、カーエレクトロニクス全体では前年実績を下回った。 オイル: 低価格帯商品を中心にPBオイルの好調と、営業日数が1日多かったこともあり、全体では数量・金額ともに前年を上回った。 バッテリー: 引き続きアイドリングストップ車用バッテリーの販売好調に加え、営業日数が1日多かったこともあり、数量・金額ともに前年を大幅に上回った。 メンテナンス: 暖冬と降雪不足の影響によりチェーンが大幅前年割れ。 アクセサリ: 引き続き携帯関連商品が好調。また、花粉やウイルス対策用品が好調で数量・金額ともに前年を上回った。特にウェットティッシュは前年比5倍以上の大幅伸張。 カーリペア: フロントガラスの解氷剤など冬季用品が低調だったものの、それ以外のカーケア用品は好調で、全体では数量・金額はともに前年を上回った。 サービス: ドライブレコーダーの前年割れに伴い、カーエレクトロニクス取付工賃は低調だったものの、オイル交換工賃などが好調で金額は前年並みとなった。車検・整備は、車検対象台数の減少が影響したものの、金額では前年並みを維持。全店ベースで台数前年比▲5.3%、金額前年比▲0.8%。
車買取・販売:	業販は買取専門店での買取台数減少により台数・金額ともに前年割れ。小売も中古車の販売、新車販売ともに低迷し、台数・金額ともに前年実績を下回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲3.2%、金額前年比▲3.9%。